

設置説明書

還元野菜整水器 TRIM AG-10

お客様に満足してご使用いただくために、この設置説明書をよくお読みのうえ正しい取り付けをお願い致します。配管及び電気工事はすべて「建築基準法」、「水道法」、「電気工事士法」、「電気工事業の業務の適正化に関する法律」、各市町村の条例規定に準じておこなってください。

※本製品の取り付けには、配管工事（建設業：管工事業種）と電気工事が必要な場合があります。（設置場所の近くに100V用アース端子付きコンセントがない場合）

※配管及び電気工事は関連する法令・規定に従って法的有資格者が実施しなければなりませんので、管工事業者及び電気工事業者の方にこの設置説明書を確実にお渡しいただき、工事を依頼してください。

株式会社日本トリム

本体設置の前に

■事前に設備工事が必要な場合

取扱説明書(表紙裏面)の「事前に設置場所と設備、及び使用条件を確認してください」を確認いただき、設備工事が必要な場合は、事前の設備工事をお願いします。

●次のような場所には、設置しないでください。

- ・高温(60℃以上)になる機器等の近く。
- ・直接日光が当たる場所。
- ・湿気やほこりの多い場所。
- ・風雨にさらされる場所。
- ・油が付着しやすい場所。
- ・凍結の可能性がある場所。

※本器は屋内での使用を想定した仕様です。また凍結の可能性がある場合は、凍結防止の対策が必要です。水漏れ等の原因になります。

●本器は水圧が0.25MPa～0.7MPaの範囲が推奨圧です。水圧が低すぎると、貯水タンクに溜まる時間が長くなります。また、高すぎると故障の原因になります。

●出水口(取水口)や排水口に灌水ホースや灌水ポンプを直接つながないでください。必ず、取水は貯水タンクに溜めてください。

●原水は、水道水又は清浄な地下水以外には使用しないでください。

●上水道以外(地下水)を使用する時は、必ずプレフィルターセット(別売品)を取り付けてください。

●次のような水は通水しないでください。

- ・川の水や、汚れ・濁りの多い水
 - ・赤サビの多い水
 - ・50℃以上のお湯
 - ・塩分の多い水(海岸近くの井戸水など)
- 故障の原因となります。

AG-10の本体設置

●平らな場所に置いてください。不安定な場所や傾いたところには置かないでください。

●本器の施工用に給水配管を新設した場合は、給水配管を接続する前に蛇口を開け10～15分程度の通水をし、配管内のごみを出してから給水配管を接続してください。

●AG-10の配管接続の口径サイズは全てG1/2です。給水元の接続口が異なる場合は別途工事が必要です。

●出水(取水)ホースは、本体の出水口(取水口)より1m以上高くしないでください。

●排水ホースは、本体の排水口より低くしてください。

●電解水貯水タンクは、本体の近く(5m以内)に設置してください。

●2台以上設置する場合は電解槽交換時の作業スペースを確保するために、機器同士を30cm以上離してください。

●アース線端子付きコンセントがない場合は、アース(接地)工事を必ず行ってください。



警告

※本器及び付属品を扱う場合は「取扱説明書」を熟読の上、ご使用ください。

 禁止	配管工事(建設業:管工事業種)及び電気工事(電気工事業者)は関連する法令・規定に従って法的有資格者によって実施し、資格者以外は実施しない。
	電源コードを傷つけたり、破損するようなことはしない。 ・ステープルなどで固定したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
	1つのコンセントから多数の電気製品の電源コードを接続しない。
	ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない。
 指示	電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないこと。
	コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込むこと。
	差し込み口がゆるいコンセントには、使用しないこと。
	電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜くこと。 ・電源コードが傷んだ場合などは、当社に修理を依頼してください。
 指示	本器を誤って水中に落としたり水没したりしたときは、電源プラグをコンセントから抜き、本器を引き上げること。 ・当社に修理を依頼してください。
	本器の異常・故障が発生した場合は、直ちに使用を中止し電源プラグを抜くこと。 ・点検または修理は当社にご相談ください。



注意

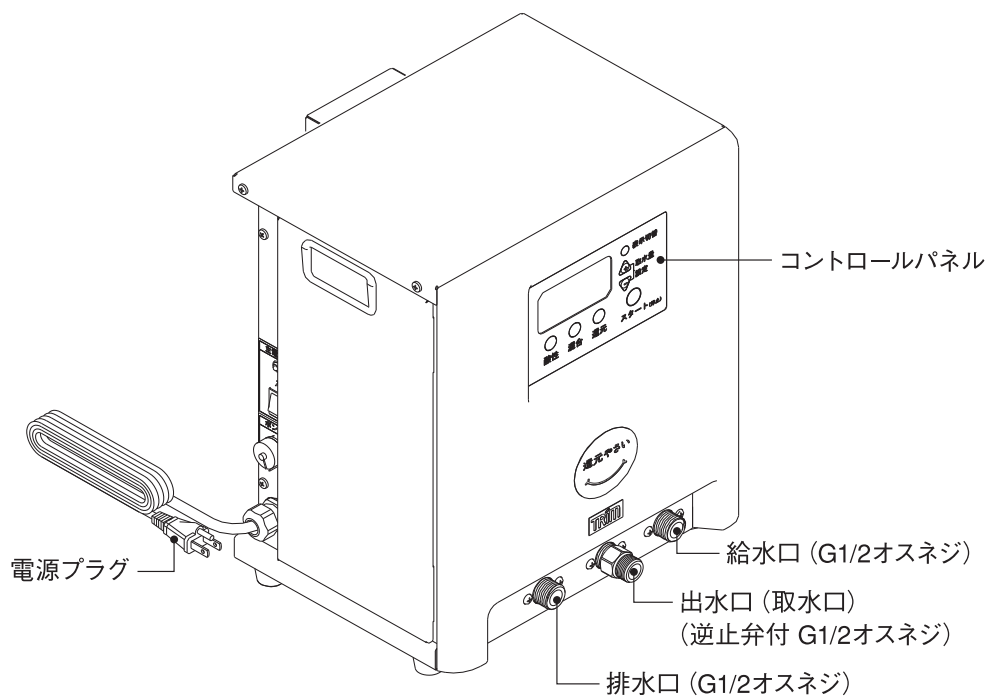
※本器及び付属品を扱う場合は「取扱説明書」を熟読の上、ご使用ください。

 禁止	50℃を超えるお湯を本体側に通さないこと。
	本器に使用を許されている構造部品以外を実装、または接続しないこと。
	給湯器や温水器などに直結しないこと。
	水の出口を塞いだり、ホースを折り曲げたり、ねじったりしないこと。
	本器の上に物を置かないこと。
	本体を寝かした状態で使用しないこと。
	出水(取水)ホースや排水ホースの先端を、排水口などのおおの強いところや、水面に触れさせた状態で使用しないこと。 ・止水した時に嫌なおお、水や不純物などを排水ホースから吸い上げる場合があります。
 指示	アース線端子付きコンセントでアース線を必ず接続してください。 ・アース線端子付きコンセントがない場合は、アース(接地)工事を必ず行ってください。
	平らな場所に置いてください。 ・不安定な場所や傾いたところには置かないでください。
 指示	水の出口をふさがないでください。
	配管や本体および接続部分に衝撃を与えないでください。 ・故障の原因となります。
	水漏れをした状態のまま、使用しないでください。 ・速やかに給水元(バルブ)を閉め、当社にご連絡ください。
	取り扱いを間違えると故障の原因となるので、使用方法、使用上の注意を必ずお守りください。

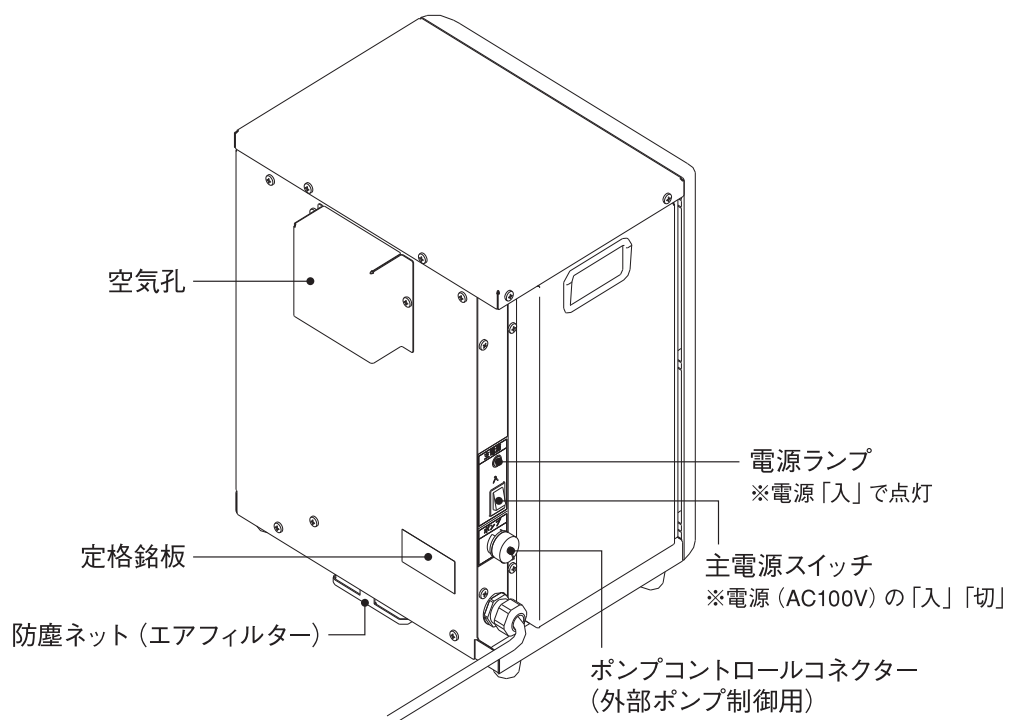
AG-10 本体及び付属品

各部の名称

■本体正面



■本体背面

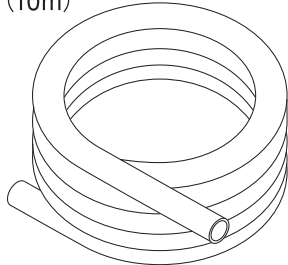


AG-10 本体及び付属品

標準付属品

ホース組立部品

耐圧ホース
(10m)

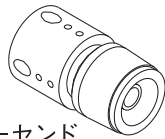


19mmストレーナー
網メッシュ (1個)
パッキン (1個)

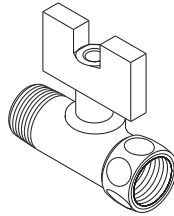


口金13
パッキン付
(4個)

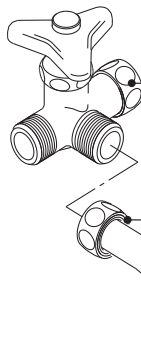
ホースエンド
(4個)



給水分岐配管部品



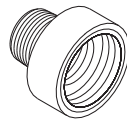
片ナットボールバルブ
パッキン付 (1個)



アングル分岐水栓
パッキン付 (1個)

水栓分岐用

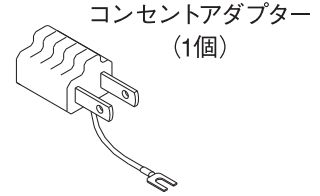
カップリング
パッキン付 (1個)



蛇口取付用

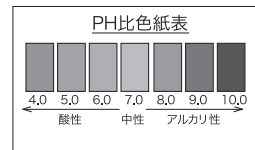
異径アダプター
パッキン付 (1個)
W26-20:G1/2

変換アダプター

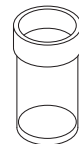


コンセントアダプター
(1個)

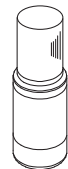
pH測定キット



PH比色紙表



専用カップ



pH測定液

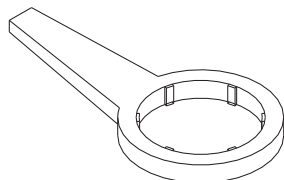
別売品 (オプション部品)

プレフィルターセット組立部品

■プレフィルターセット構成

- ・フィルターハウジング (上部)
- ・フィルター受け (1個)
- ・フィルターハウジング (下部)
- ・フィルター (1本)

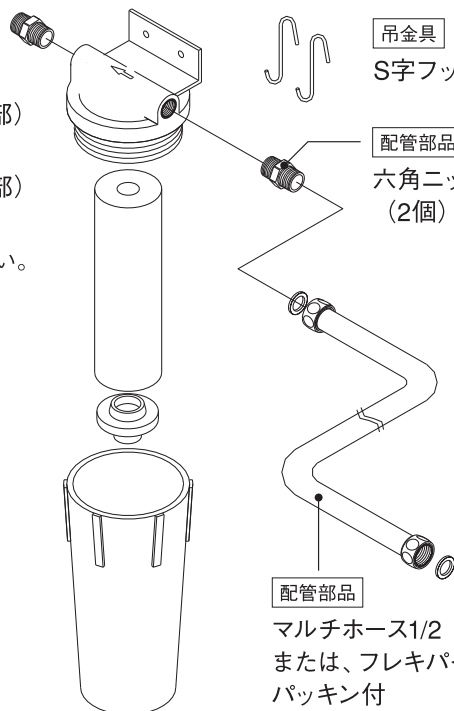
※交換時は販売店にご連絡ください。



締め付け工具 (1個)

■必要工具

- ・六角レンチ (3)
- ・モンキーレンチ



吊金具

S字フック (2個)

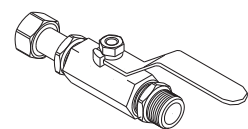
配管部品

六角ニップル1/2
(2個)

配管部品

マルチホース1/2
または、フレキパイプ
パッキン付
(1m:1本)

その他



比率調整バルブ
(排水量の絞り)



コントロールプラグ
(ポンプ制御用)

1 配管組立及び接続

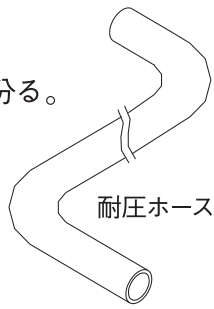
1 接続ホースの組立

耐圧ホース (10m) を3本に切り分る。

※長さは現場対応。

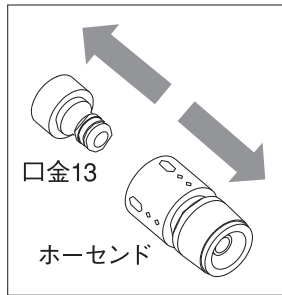
●長さの例

給水:2m、取水:5m、排水:3m



ホーセンドと口金13を外す。

※ホーセンドの緑色の部分をスライドさせると外れます。



ホーセンドのねじキャップを外す



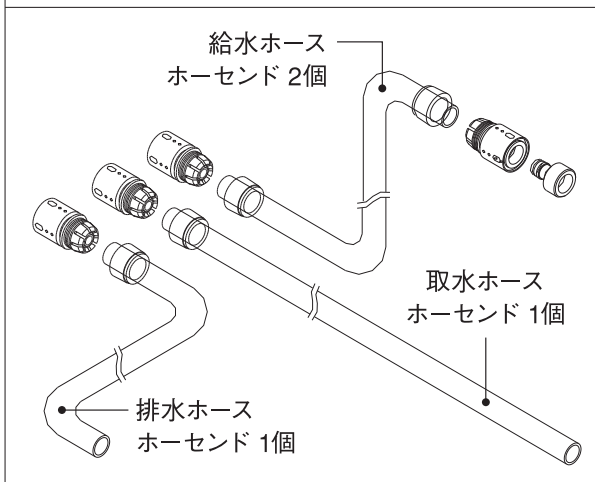
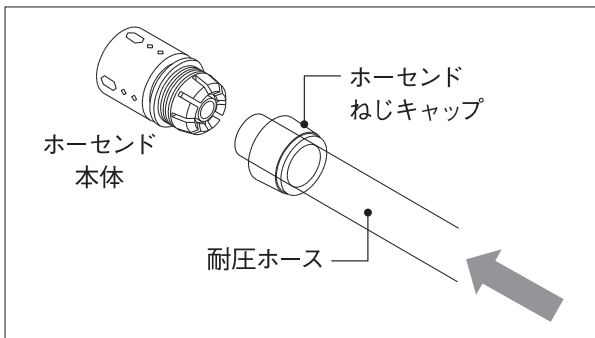
ねじキャップを耐圧ホースに通す



耐圧ホースをホーセンドに差込む



ねじキャップを締める



2 給水元への接続

A. 給水元に蛇口がある場合

蛇口の接続について(下図参照)

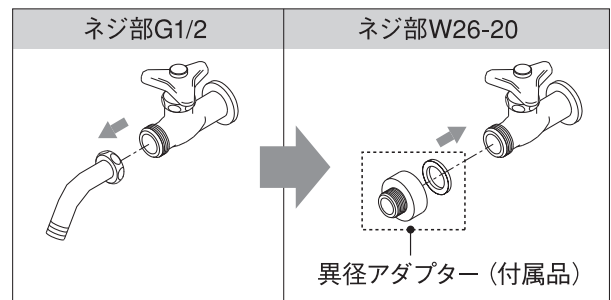
●先端部のネジ径がG1/2の場合

先端を外してください。

●先端部のネジ径がW26-20の場合

蛇口の先端を外し、異径アダプター(付属品)を取り付けてください。

※それ以外の場合は別途配管工事が必要です。



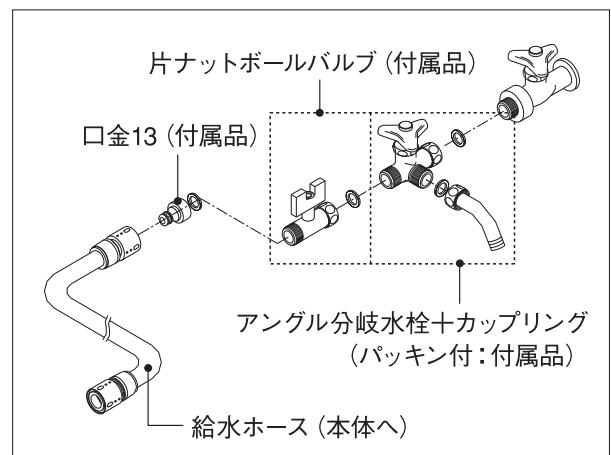
B. 給水元の配管工事が必要な場合

●蛇口が設置場所がない場合は、水道配管工事が必要です。

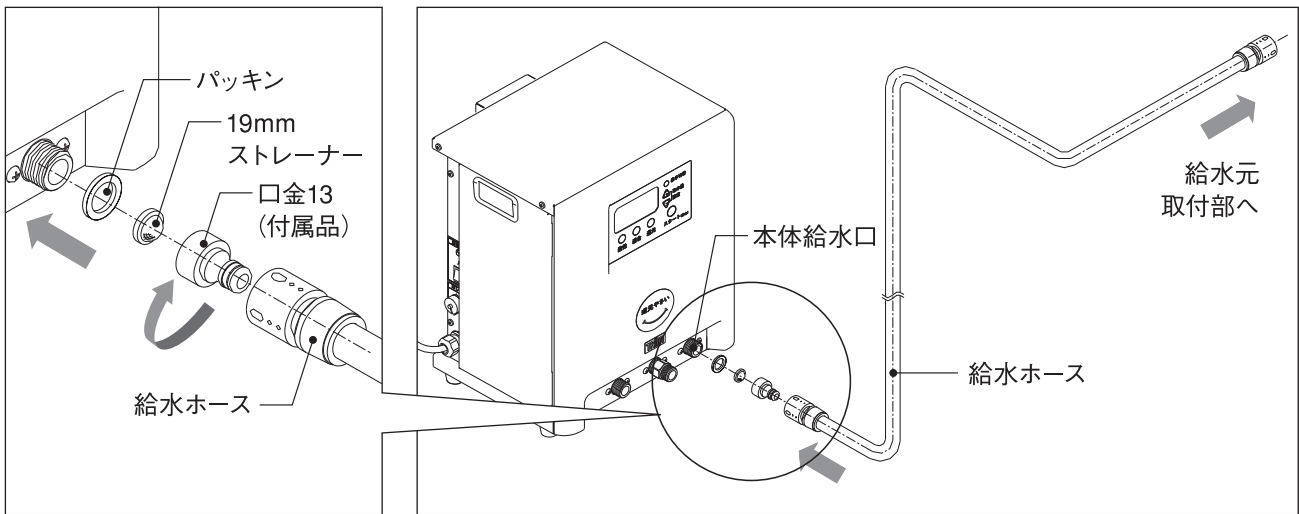
※給水元には蛇口を取付けてください。蛇口の出口ネジ部はG1/2(オス)又はW26-20(オス)にしてください。蛇口から後の配管は、A. 給水元に蛇口がある場合に従い施工してください。

■給水分岐配管部品(付属品)の取り付け

給水元の出口に給水分岐配管部品を下記の接続図にしたがって給水元に給水ホースを接続してください。



3 給水ホースの接続



●給水元に給水ホースを接続してください。

※給水元配管から本器までの距離は、できるだけ給水元に近い位置に設置してください。

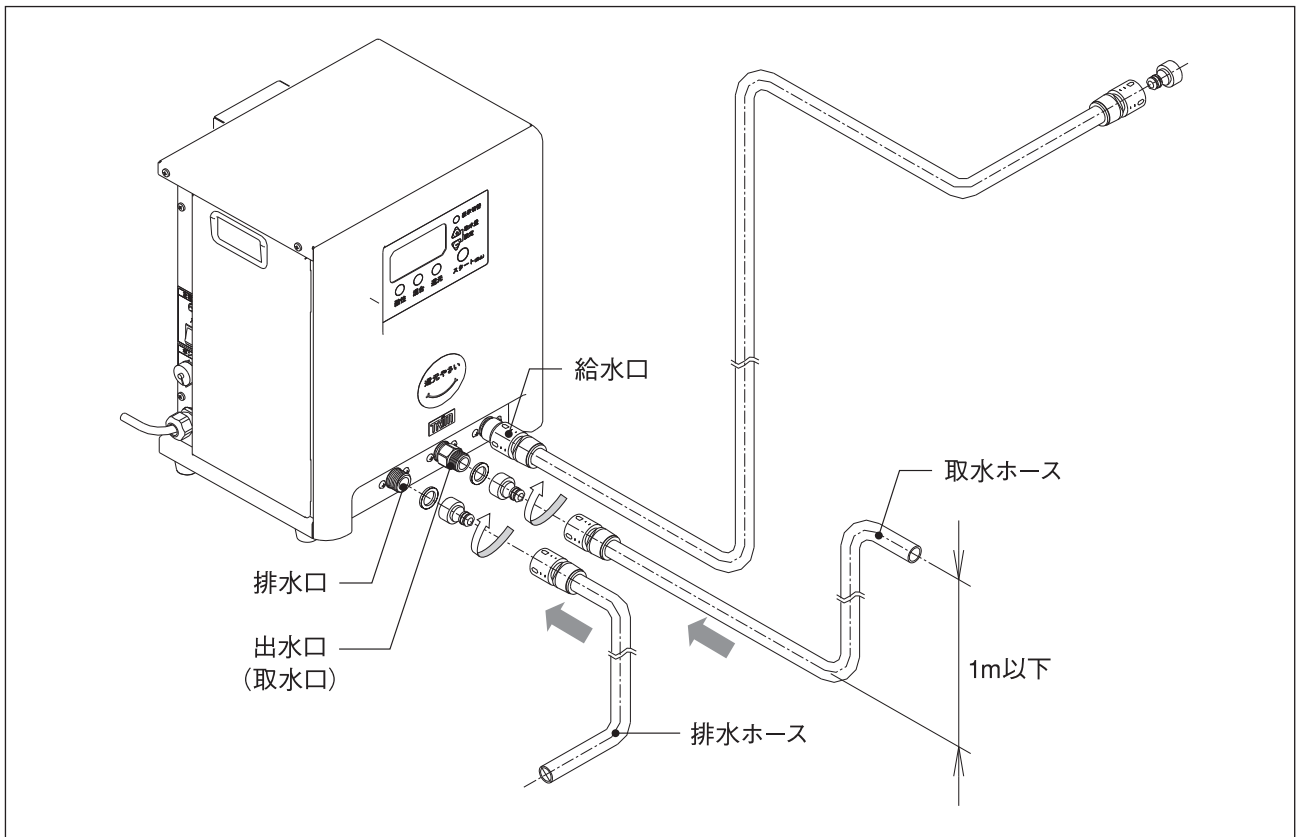
配管接続する前に本体前面にある接続口(3箇所)のキャップを外してください。

●本体の給水口と口金13の間に19mmストレーナーを入れ取り付けます。

※19mmストレーナーの取り付け方向は、凸側が口金13側に付くように取り付けは、パッキン→19mmストレーナー→口金13の順番で取り付けてください。

※水漏れの可能性があります。しっかりと接続してください。

4 取水／排水ホースの接続



本体前面の出水口（取水口）、排水口にそれぞれ接続ホースを取り付ける。

※本体前面の出水（取水）口と排水口に口金13を取り付ける。

●出水（取水）ホースの取り付け上の注意点

※出水（取水）ホースは、本体の出水口（取水口）より1m以上高くしないでください。高くなると取水量が減少し、ためる水量の誤差が大きくなります。また出水（取水）ホースはできるだけ短くしてください。

●排水ホースの取り付け上の注意点

※排水ホースは、本体の排水口より低くしてください。出水（取水）に排水が混入する可能性があります。

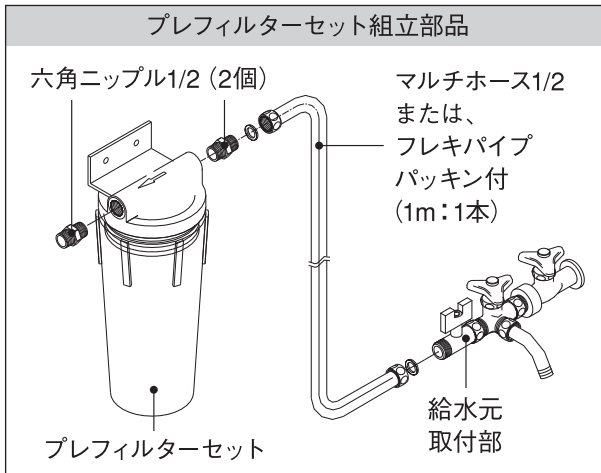
●ホース接続の注意点

※出水（取水）ホース、排水ホースの先を灌水ホースや灌水ポンプに直接つながないでください。

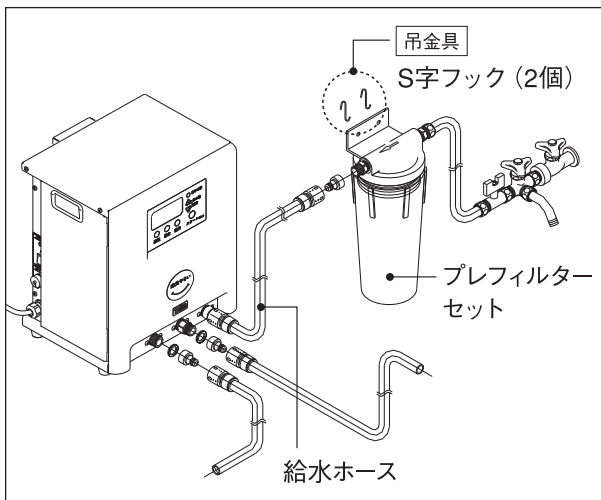
5 別売品について

プレフィルターセット

- 上水道以外(地下水)を使用する時は、給水元の配管にろ過フィルターの設備がない場合、機器故障の原因になるため、プレフィルターセット(別売品)を取り付けてください。

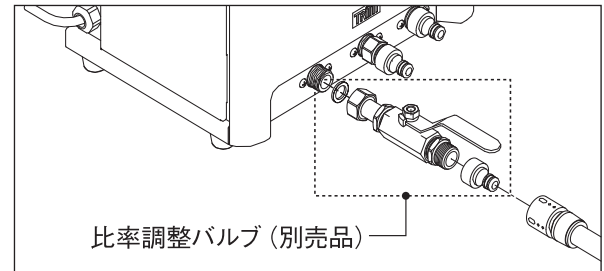


- ※プレフィルターセットの取り付けは給水元 取付部と本器給水口との間に接続してください。プレフィルターセットはS字フック(付属品)で吊るしてください。固定したい場合は別途工事が必要です。



比率調整バルブ

- 配管設置状況により取水排水比率(標準は4{取水量}対1{排水量})が大きく変化している場合は比率調整バルブ(別売品)で調整することも出来ます。

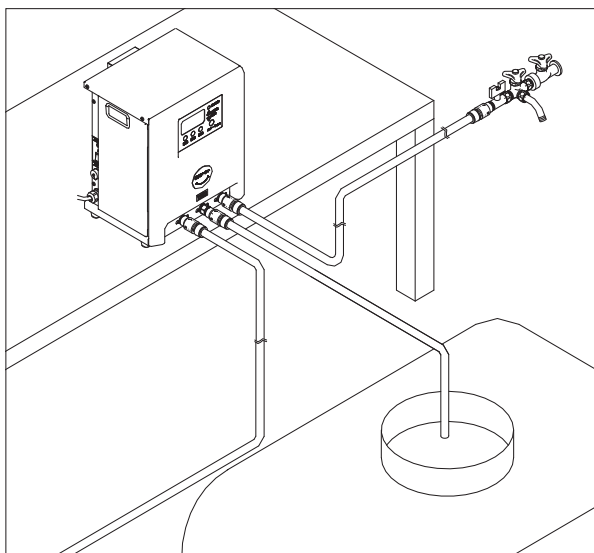


- ※別売品の比率調整バルブを取付けている場合、バルブを調整して取水量が排水量の4倍になるように実際に測定して取水調整してください。

6 貯水タンクの設置

貯水タンクはお客様側でご用意ください。

※貯水タンクを設置する場合は、本体の近くに
(5m以内) 設置してください。



2 電源コードの接続

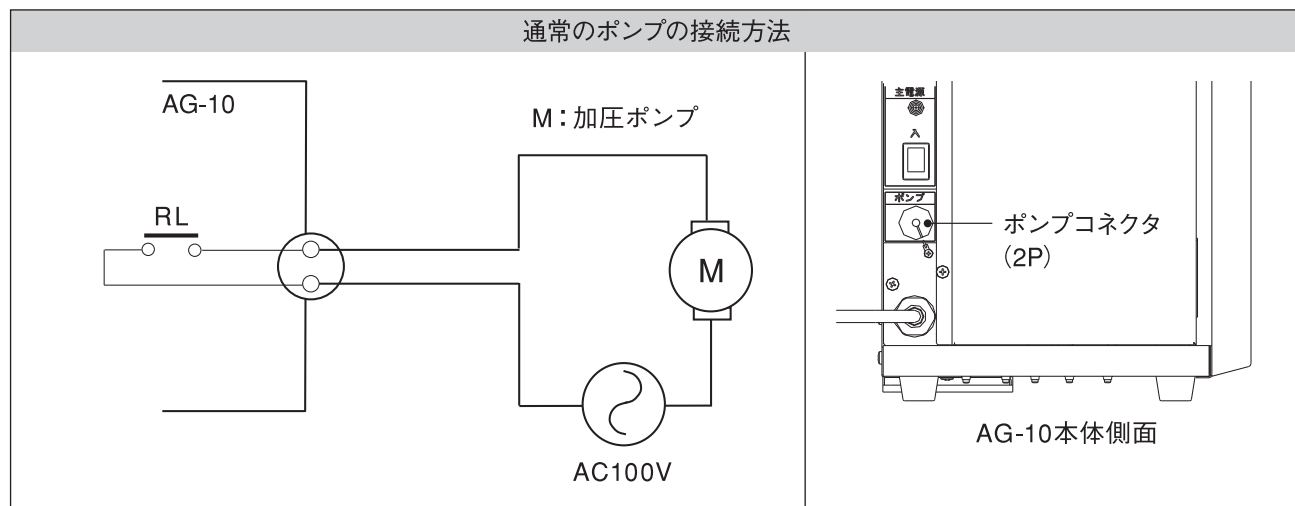
※本器の電源電圧は、AC100V (定格電流7A) です。ブレーカー及び専用コンセントの設備がない場合、別途電気工事が必要です。コンセントは本体の電源コード(2m)の届く範囲に施工してください。アース端子付きコンセントがない場合は、アース(接地)工事を必ず行ってください。電源コードのプラグはアース付きコンセントに差し込んでください。

3 特殊対応仕様及び外部システムについて

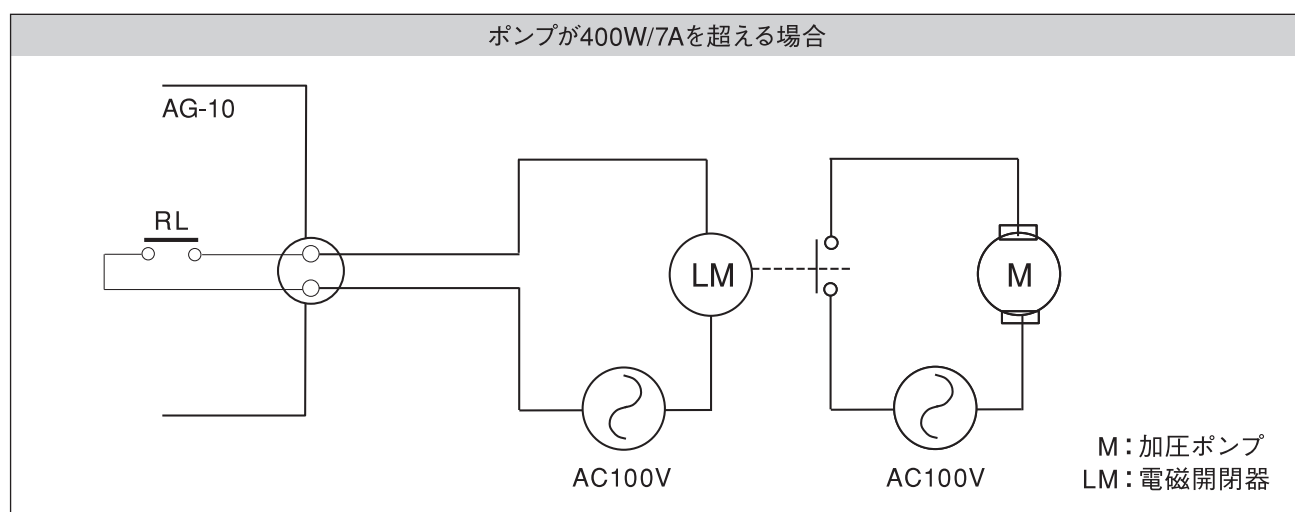
複数台の連結、または外部ポンプの設置等は別途その都度の対応となります。

- ・加圧ポンプは下記の条件の場合、本体のポンプコネクタ (2P) よりコントロール信号 (接点信号) が取り出せます。

1 加圧ポンプ (M) のコントロール



ポンプが400W/7A以下の場合には、AG-10で直接コントロールすることができます。



ポンプが400W/7Aを超える場合は、電磁開閉器を取付けてください。

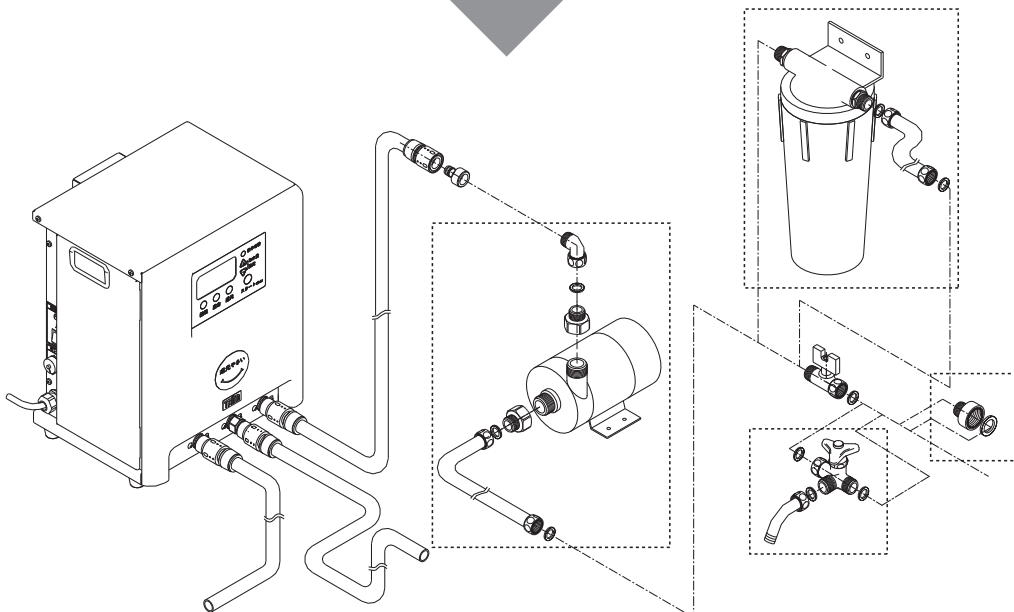
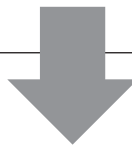
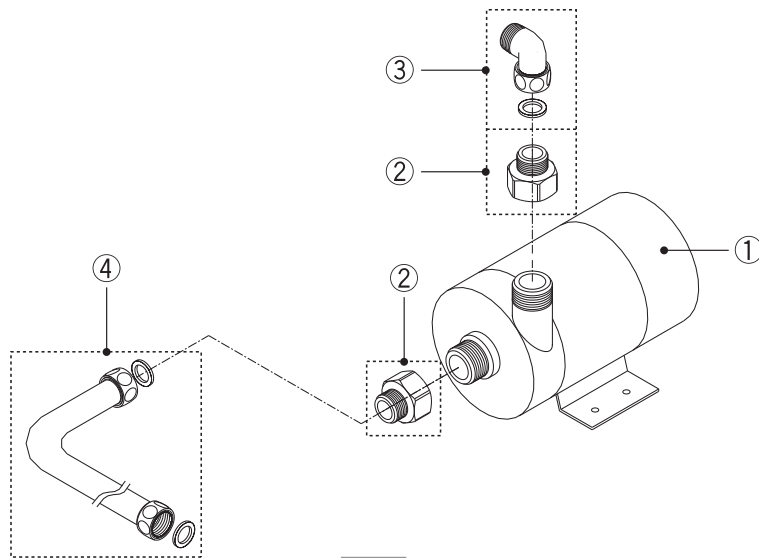
■水圧が低すぎる場合は別途加圧ポンプを御用意ください。

本器と連動する場合は下記のポンプ又は相当品を推奨します。(別途対応)

No	推奨部品	品番	員数	メーカー	備考
①	イワキポンプ	MD-70RZ-M (出口 G3/4)	1	イワキ	又は相当品
②	給湯器用ニップル 20×13	6139 (パッキン付)	2	カクダイ	
③	ナット付フレキ用エルボ	646-110-13 (パッキン付)	1		
④	マルチホース:長さ指定/最大2m	798-81 (G1/2 パッキン付)	1		

※本器でのコントロールを行なう場合、別途コントロールプラグ(別売品)が必要。

加圧ポンプ施工例



4 試運転 (取扱説明書P.7~15参照)

■試運転をするときは「取扱説明書」を熟読の上、給水(通水)してください。

- ① 本体各部の配管接続を再度確認します。
 - ・接続間違いや締付け不足。
- ② 電気配線接続を再度確認します。
 - ・電源及びケーブル類の接続間違い等。
- ③ 給水元のバルブを全開にします。
 - ・配管接続部に水漏れのない事を確認。
 - ・本体内部からの水漏れのない事を確認。
- ④ 本体側面の主電源スイッチをONにします。(電源ランプ点灯)
- ⑤ コントロールパネルの各スイッチを押して、コントロールパネルの各表示の確認。
 - ・[還元]スイッチ:レベルが変わることを確認。
 - ・[混合]スイッチ:レベルが変わることを確認。
 - ・[酸性]スイッチ:レベルが変わることを確認。
 - ・取水量設定[+][－]スイッチ:ためる水量が増減することを確認。
 - ・[表示切替]スイッチを押して表示が切り替わることを確認。

[表示切替] スイッチ (表示内容)		
待機中 (停止中)	→ 切替 (1)	→ 切替 (2) → 元に戻る
<ul style="list-style-type: none"> ●還元/混合/酸性(のいずれか) ●電解レベル(1~4) ●ためる水量(最大2000リットル) 	<ul style="list-style-type: none"> ●使用水量(トン) ●電解時間(時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ●通算使用水量(トン) ●通算電解時間(時間)
電解中 (通水中)	→ 切替 (1)	→ 切替 (2) → 元に戻る
<ul style="list-style-type: none"> ●還元/混合/酸性(のいずれか) ●電解レベル(1~4) ●たまった水量(リットル) ●給水(通水)量:リットル/分表示 	<ul style="list-style-type: none"> ●還元/混合/酸性(のいずれか) ●電解レベル:1~4 ●残りの時間(分) ●給水(通水)量:リットル/分表示 	<ul style="list-style-type: none"> ●電解電流値(A) ●電解電圧値(V) ●電源温度(℃)

- ⑥ 取水量を「10リットル」(初期設定水量)に設定し[スタート(停止)]スイッチを押し、自動的に停止することを確認します。(バケツ等にためてください。)
- ⑦ 電解水を採水しpHを測定します。(取扱説明書P17参照)

以上で試運転は終了です。